

かかやき

発行日 令和3年3月1日
発行者 西中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市倉敷西公民館
倉敷市八王寺町199-3
TEL/FAX (086) 424-3610
E-mail ph-kuranishi@kurashiki-oky.ed.jp
<http://www.kurashiki-oky.ed.jp/ph/kuranishi>



倉敷西公民館の階段踊り場付近に、西中学校区の小学校・中学校から推薦された人権に関する作文・標語・ポスターを展示しました。どの作品も児童生徒の思いが感じられる力作ばかりで、展示期間中、多くの方が作品を見に訪れました。また、公民館利用者の方も立ち止まってじっくりと鑑賞していました。





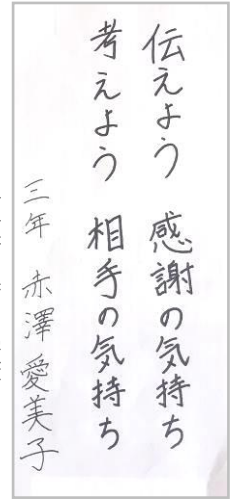
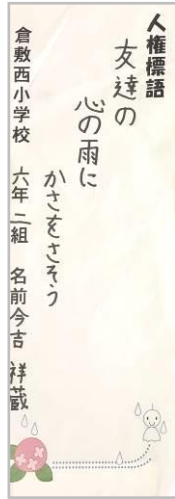
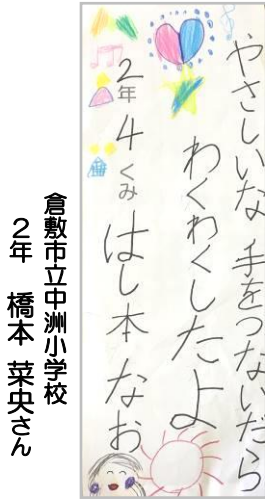
展示した57点のうち、11点が優秀作品に選ばれました。

作文の部

「コロナ差別をなくそう」
倉敷市立万寿小学校
6年 三谷 和輝さん

「ネットの誹謗中傷について」
倉敷市立西中学校
3年 赤澤 空さん

標語の部



ポスターの部



倉敷市立中洲小学校
1年 武井 小町さん



倉敷市立中洲小学校
4年 宮坂 采花さん



倉敷市立老松小学校
6年 貝原 史桜さん



倉敷市立西中学校
2年 山本 茉奈さん



倉敷市立西中学校
3年 岸 美月さん



げんきいっぱい お芋ほり

倉敷市老松保育園

老松学区老人クラブ会長の亀山泰美さんの畑に春に植えさせていただいたさつま芋が大きくなり、10月29日(木)に老松保育園の5歳児41名が歩いて芋ほりへ行きました。保育園を出発する前から「大きいさつま芋採れるかな。」とドキドキワクワク。

畑に着くとさっそくスコップや手で掘り始めました。「どこにあるかな。」「あった。あった。」顔を出した芋を見つけて友達と一緒に掘る顔は真剣そのもの。掘っていくと、どこ



からか「採れたよ。」と元気いっぱいな声が聞こえてきました。満足そうな笑顔で大きな芋を重そうに両手で抱え、友達や亀山さん、地域の方へ採れたことを知らせたり、なかなか出てこない芋を友達と囲んで一生懸命掘ったりと、暖かい日差しの中で芋ほりを楽しみました。

たくさんの芋を収穫し、とてもうれしそうな子どもたちでした。



新型コロナ「新しい生活様式」の高齢者の対応 手洗いのやり方について

中洲学区
老人クラブ連合会



9月30日(水)、倉敷西公民館を会場に、中洲学区老人クラブ連合会が主催する令和2年度中洲学区老人クラブ連合会講演会が開催されました。マスクの着用、手指消毒などの感染予防対策を徹底する中で、39名の会員の方が参加し、倉敷市保健所健康づくり課倉敷保健推進室保健師の坪井わかな先生から「新型コロナ『新しい生活様式』の高齢者の対応・手洗いのやり方について」をテーマにお話を聴かせていただきました。

講演では、新型コロナウイルスを正しく知って予防することや、新型コロナウイルスに負けない身体づくりをすることの大切さについて、具体的に分かりやすく説明していただきました。日ごろ話題になっている「新しい生活様式」については、参加者全員で各自の日常生活を振り返りながら、一項目ずついねいに確認していきまし

た。また、正しい手洗いのやり方については、参加者が実際に手洗いをやってみた後、検査機器を使ってその効果を確認しました。筋力アップの体操も体験しました。日ごろ不安を感じている新型コロナウイルスの対応について、和やかな雰囲気の中で学ぶことができました。



参加者の
感想

- ・正しい手洗いについての実践は新鮮でした。あらためて手洗いの必要を感じました。
- ・新型コロナウイルスへの対応を学び、健康な生活ができるよう、今日の話を守っていききたいと思います。

なかよし週間

令和2年11月9日～13日

倉敷市立老松小学校

老松小学校では、毎年2回、6月と11月に、なかよし週間の取組を行っています。第2回のなかよし週間は、11月9日から一週間、「やさしさいっぱい 笑顔いっぱい みんななかよし老松っ子～一人ひとりの違いを認め合おう～」をテーマに取り組みました。

今回は各学級で『なかよし宣言』の振り返りを行いました。『なかよし宣言』は第1回のなかよし週間で、どんな学級にしたいか、何をがんばるかを、みんなで話し合っただけ決めたものです。振り返りをする中で、思いやりの心をもつことや、なかよく助け合うことの大切さを改めて考えることができました。



▲ なかよし宣言

『よいこと見つけ』では、友達のよいところを見つけてカードに書きました。どの学級も大きな虹の台紙にいっぱいのカードが貼られ、一人ひとりのよいところがあふれる色鮮やかな虹をかけることができました。この活動により、互いを認め合い、友達を大切に思う心を育むことができました。また、友達のメッセージから、自分のよさにも気付くことができました。



▲ よいこと見つけ



▲ 読み聞かせ

なかよし委員会の活動として、絵本の『読み聞かせ』や、お昼の放送での『なかよし〇×クイズ』を行いました。絵本の内容から、やさしさとは何かを考えたり、クイズから友達となかよくするにはどうすればよいかについて再確認したりすることができました。



▲ 個別相談

学級担任と児童とのふれあいを大切にすることをねらいとして『個別相談』を行いました。担任が児童の話を受容的・共感的に聞くことで、相互の信頼関係をより深めることができました。また、個々の児童が抱える悩みや児童同士の問題の早期発見、早期対応に生かすことにつながりました。

このような、なかよし週間の取組を通して、今後とも、互いのよさを認め合い、笑顔が輝く老松小学校を目指していきたいと考えています。

あいさつ運動



倉敷市立西中学校生徒会

西中学校には、SAC(さわやか あいさつ 中学生)というあいさつのスローガンがあります。このスローガンに基づき、毎週、生徒会と各委員会であいさつ運動を行っています。あいさつ運動がある日は、「おはようございます。」という声が校内を飛び交い、とてもさわやかな気持ちで一日を始めることができます。しかし、中には、あいさつをすることが恥ずかしいと感じている人もいます。私たち生徒会は、自らあいさつができる雰囲気を作っていくことが、今後の課題だと思っています。



「おはようございます。」「ありがとうございます。」「いただきます。」などといったあいさつの言葉が、様々な場面であふれる『気持ちのよい学校』を目指し、これからもがんばっていききたいと思います。